

「トップス」のマディソン旗艦店リニューアル

「トップス」は2015年春夏ニューヨーク・コレクションの期間中である9月8日、マディソン街の旗艦店をリニューアルオープンした。それに伴い、トップス グループのディエゴ・デッラ・ヴァッレ会長兼最高経営責任者(CEO)主催のカクテルパーティー＆プライベートディナーを開催。ニコール・キッドマンやユアン・マクレガー、バズ・ラーマン、ユマ・サーマン、リチャード・ギアらがパーティーに参加した。

リニューアルで目を引いたのは、ブティックの8面のウインドーと大理石のファサードだ。歴史的なイタリアの建造物をほうふつとさせる作りが印象的だ。内装にも、シンメトリー、縦列配置、中央部の空間など、「パラツォ・イタリアーノ」(イタリアの邸宅)を作る上での典型的な要素が盛り込まれている。店内什器にもウォールナットやチーク材を使用し、温かみを表現した。

トップスのデッラ・ヴァッレ会長兼CEOは、「ウィメンズのクリエイティブ・ディレクターにアレッサンドラ・ファッキネットィを迎えて1年が経過した。メンズのクリエイティブ・ディレクターについても、アンドレア・インコントリを迎え、発表した15年春夏から彼がコレクションを手掛けている。こうしたクリエイションの変化

に伴い、ショップの内装も一新する必要があった」とリニューアルの経緯を語る。「マディソン街は、世界のファッションの中心地ということもあり、とても大事なロケーションだ。しかし、我々はイタリアのブランドであり、そのエッセンスを伝えるため、レザーの壁や大理石など、イタリアならではのラグジュアリーな自然素材にこだわった。レザーといえば『トップス』であり、それも表現したかった。お客様まるで家にいるような雰囲気を感じとつていただけたら」と語る。日本の表参道店については、来年をメドにリニューアルを検討中だ。「しかし、マディソン街とは少し違うコンセプトにしたいと考えている。世界中どこに行っても同じなんてつまらないから。その国に合うショッピングコンセプトを採用するので、内装についても常に進化させていきたい」。ファッキネットィのクリエイションも2シーズンを迎えたが、「小売りの反応も良く、満足している。我々『トップス』は彼女を迎えたことで、フェミニンでスポーティー、セクシーなブランドに進化した。今後も、レザーグッズ、イタリアンメードというルーツを大事にしながら、ハンドメードにこだわり、モダンなイタリアン・エレガントを提案するブランドでありたい」。



1.リニューアルしたトップスのマディソン街の旗艦店。8面のウインドーが印象的。2.ファッキネットィのコレクションが並ぶウィメンズメンズコーナーもインコントリ就任に合わせ、ラグジュアリーに改装。3.メンズのクリエイティブ・ディレクターのアンドレア・インコントリ(左)とウィメンズのアレッサンドラ・ファッキネットィ。5.トップス グループのディエゴ・デッラ・ヴァッレ会長兼CEO(左)と俳優のエイドリアン・グレイナー。6.左から、ユアン・マクレガー、ニコール・キッドマン、バズ・ラーマン監督。

デニムをコアとするライフスタイルブランドとして進化

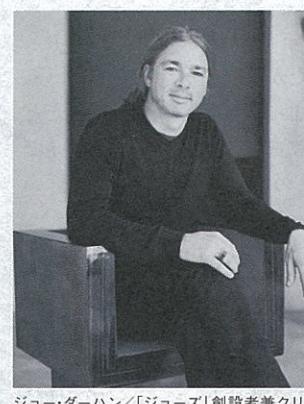
「JOE'S」の米国売れ筋アイテムをいち早くレポート！

PHOTOS BY IKU KAGEYAMA

ジョー・ダーハンが2001年にプレミアム・デニムブランドとしてロサンゼルスでスタートした「JOE'S jeans(ジョーズジーンズ)」は、07年からライフスタイルブランド「JOE'S(ジョーズ)」として、さらにアイテムを拡大している。米国では直営店を33店舗構え、ノードストロームやサックス・フィフス・アベニュー、ニーマン・マーカス、ブルーミングデールズを始めとする百貨店や専門店で販売している。日本では15年春夏から、伊藤忠商事が総輸入元、東レ・ディプロモードが販売元となり、今後、さらにビジネスを拡大していく。ジョー・ダーハンは「ジョーズ」創設者兼クリエイティブ・ディレクターは、「デニムが我々のブランドにとってコアアイテムであることには変わりないが、カジュアル・シックを追求するライフスタイルブランドとして、ワードローブを増やせるようなファッション性のある商品をさらに提供し、進化し続けている。15年春夏のテーマは、上質な素材とセクシーなシルエット。特に今シーズンは“Off Duty(オフ デューティ)”と呼ぶ、ジョグパンツなどのスポーツテイストをカテゴリーに加えた。15年春にスタートするデザ

イナーこだわりの“Collector's Edition(コレクターズ エディション)”の中ではボーアフレンドタイプがイチオシ。来年に向けて、より一層成長していく」と話す。

11年9月ソーソーのマーサストリートにオープンしたショップは、天井が高く、解放的な雰囲気。エキスパートによるアドバイスで、自分にぴったり合ったデニムを選ぶことができる。もちろん、ニットやジャケット、コートなどのアウターから、バッグやシューズ、キッズラインまで、幅広い品ぞろえを誇っている。現在、店頭で売れている商品は、ウィメンズでは、ハイウエストのスキニーデニム。メンズのチェックシャツを腰に巻き、レイヤードで着こなすスタイリングがイチオシだ。メンズでは、日本の生地を使用したストレートデニムが人気だ。



2015春夏シーズンのビジュアル。ジョー・ダーハンがイチオシのボーアフレンドデニムをはきこなす

SHOP DATA

JOE'S SOHO Boutique

77 Mercer Street New York, NY 10012
Tel: 212.925.5727
Open: Mon - Sat 11am-7pm | Sunday 12pm-6pm



1.解放的な店内。シューズ、バッグその他、メンズデニムやトップスも豊富にそろっている。2.ファッションの最先端を行くソーホーエリアに直営店を構える。3.トップスをレイヤードして着こなすのが、オススメのコーディネート。4.ショップのスタッフが親身になってフィッティングのアドバイスをしてくれる